

「ACP（人生会議）」セミナー in 首里

講演①：『ACP「人生会議」セミナー』

講師：きなクリニック 在宅医 喜納 美津男 氏

演題②：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か』

～訪問看護の立場から現場実践を通して～

講師：ウィル訪問看護ステーション豊見城 訪問看護師 山川 将人 氏

講演③：『シルファイン繁多川における看取り』

講師：シルファイン繁多川 施設代表 新垣 則光 氏

講演④：『ちむぐくルール～ポイント⑧ 救急受診の判断と連携～』

講師：那覇市消防局 救急課 城田 覚 氏

講演⑤：『緊急連携シート ～病院の立場からのお願い～』

講師：沖縄赤十字病院 救急医 佐々木 秀章 氏

○日 時：令和4年11月9日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄県総合福祉センター・ゆいほーる

○参加者：59名

【背景】介護関連施設で、本人を中心としたACPの実践が進まない現状がある。

【目的】①本人・家族の希望があれば話し合える土壌を構築する。

②『緊急連携シート』の活用を通して救急連携のあり方について、セミナーを通し施設、医療機関、消防局との連携強化を図る。

【対象】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム

【方法】①那覇市内4エリア（首里・真和志・本庁・小禄）へ出向き参集型開催（今回は首里）

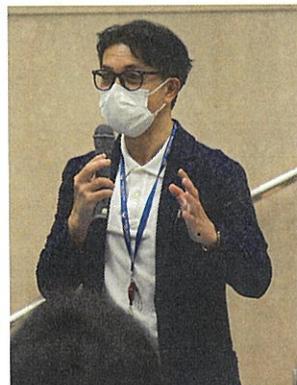
②出前講座前に、コアの施設を選定し、準備会を開催する。

【結果】アンケートを参照下さい。

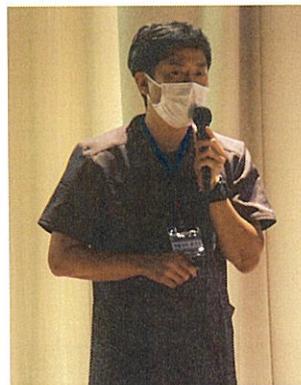
【考察】参加者は介護職が最も多かった（47%）。それぞれの発表に対する評価はアンケート結果を参照されたい。参加者より、「ACPについて全く知識がなかったが、その意味、内容、必要性、会議の持ち方を学ぶことができた」、「早めに本人・家族に意向を聴くことで、本人・家族・スタッフも安心して過ごせる環境を整えることができると思った」、「DNARの同意書をしっかり把握し、どの職員も見方がわかるようにしておくべきだと思った」、「病院の気持ちも理解できた。しっかりと意思を確認することで救える命にも繋がると改めて感じた」等の感想があった。



司会：佐久川 伊弘 氏



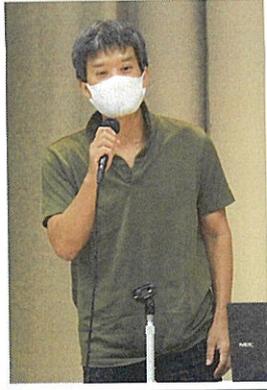
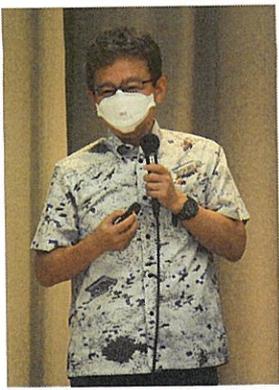
講師：喜納 美津男 氏



講師：山川 将人 氏



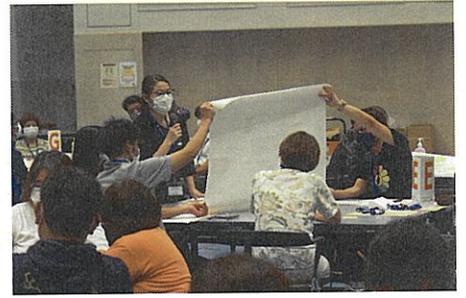
講師：新垣 則光 氏



講師：佐々木 秀章 氏

講師：城田 覚 氏

グループワーク「ACPを実践するための事前準備」



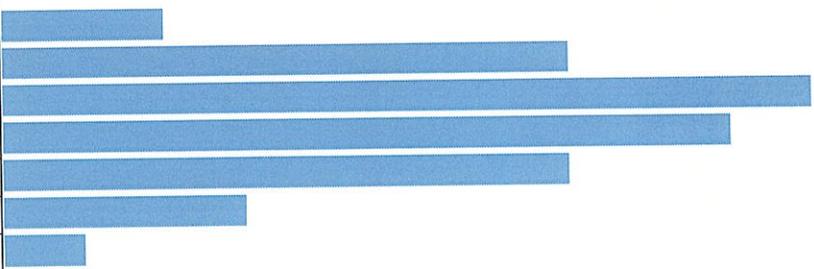
日時：令和4年11月9日(水) 19:00~21:00

場所：沖縄県総合福祉センター・ゆいぽーる

参加者：59名 回答者：39名 (66.1%)

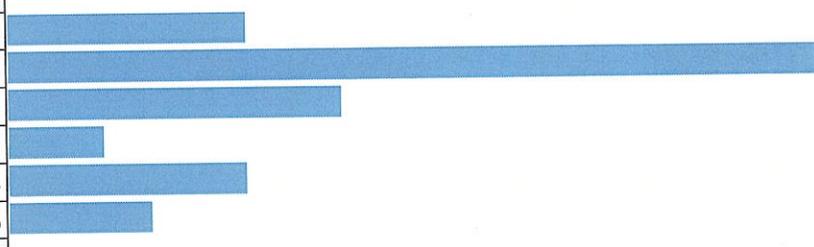
経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	2	5%
1~5年未満	7	18%
6~10年未満	10	26%
11~20年未満	9	23%
21~30年未満	7	18%
31年以上	3	8%
無回答	1	3%
総計	39	100%



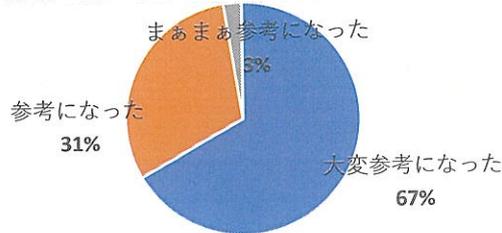
職種の内訳

職種	人数	割合
看護師	5	13%
介護職(ヘルパー等)	17	44%
管理者	7	18%
地域包括支援センター職員	2	5%
その他	5	13%
無回答	3	8%
総計	39	100%



1.『ACP(人生会議) (講師：喜納 美津男 氏) は参考になりましたか。』

選択肢	人数	割合
大変参考になった	26	67%
参考になった	12	31%
まあまあ参考になった	1	3%
参考にならない	0	0%
総計	39	100%



演題：『ACP(人生会議)』(講師：喜納 美津男 氏) について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

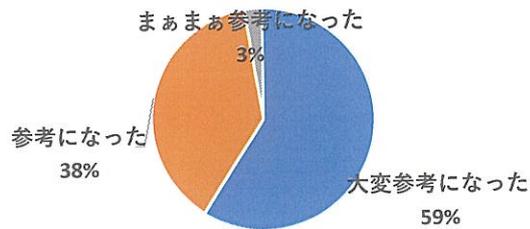
- ・本人の意志を常日頃から聞いておくことが大切だと知りました。
- ・資料が沢山あって、後々繰り返し確認できる。
- ・日頃からどうすればいいのか、参考になりました。
- ・初めて聞くワードだったが、その意味、内容、会議の持ち方、必要性を学ぶことができました。
- ・ACPについて全く知識がなかったので、非常に参考になりました。勉強になりました。
- ・医療側からのアプローチではなく、日頃から関わっている現場の声が大事。
- ・ACPについて理解することができました。
- ・終活は、マスメディアでここ数年取り上げられていたが、実際に「看取り」には、色々なことが含まれるんだと考えられたことは良かったと思います。
- ・ACPの考え方がわかった。自分たち施設にあったACPを考えるということ。
- ・ACPについては、一般の方にもわかってもらうことが大切だと思う。私は介護職なので少しはわかっているつもりですが、施設、病院、役所等でも相談などできるようになれば良いのではと思う。
- ・ACPの再確認ができて良かったです。最近、ACP=看取りのような医師がいて、ACPについて混乱していましたが、スッキリしました。
- ・ACPとは何か?ということをわかりやすく説明してくれて今後のケアに繋がりたいと思いました。
- ・ACPの大切さ、日頃からの情報集めがカギになると感じました。
- ・ACPが具体的にわかりました。

第1回 ACP(人生会議) セミナーin首里 アンケート結果

- ・早めに家族、本人に意向を聴くことで、本人・家族・スタッフも安心して過ごせる環境を整えることができると思いました。
- ・思いを語ることの大切さがわかりました。
- ・普段の会話の中で、万が一の時は〇〇がしたい、〇〇はされたくない等の希望を聞いた時がACPの始まりだと聞いたときはすごく理解できた。
- ・動画での言葉がわかりやすく理解できました。

2. 『施設で行えるACP (人生会議) とは何か ～訪問看護の立場から現場の実践を通して～』
(講師：山川 将人 氏) は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	23	59%
参考になった	15	38%
まあまあ参考になった	1	3%
参考にならない	0	0%
総計	39	100%

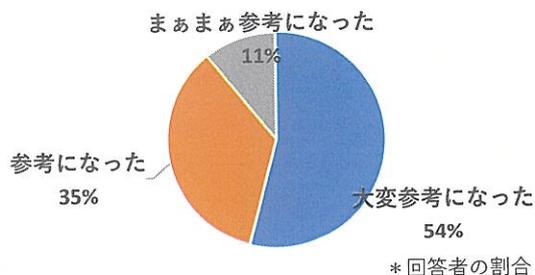


演題：『施設で行えるACP (人生会議) とは何か ～訪問看護の立場から現場の実践を通して～』
(講師：山川 将人 氏) について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・医療側の立場から判断するのではなく、ご本人さんの意思は?! が大事。
- ・施設での看取りの大切さ、必要性が知れた。
- ・コミュニケーションと共有の方法。
- ・具体的なアプローチの方法や言葉かけがとても参考になりました。
- ・一人の職員の声を大事にした。すごい。どうしてできたのか聞きたかった。
- ・点滴等悩むことが多いです。食事、水分が摂れないから点滴するなど本人にとって本当に良いことなのだろうかと思ったりもします。
- ・施設でできるACPが色々あることがわかりました。
- ・利用者だけではなく関係者とも多くのコミュニケーションを取ろうと思いました。
- ・同じ看護の立場から、医療者側の意見だけでなく、少しでも意志を尊重できるよう点滴を継続する寄り添いが大事だと思った。
- ・普段のコミュニケーションから、本人の意志を汲み取ることが大切だと感じ、現場で活かそうと思いました。
- ・本人へ関わる全ての方がACPへ関わることを知りました。看取りというと医療的なことを考えてしまうが、本人の望みは、本人の声が聞ける立場の人にしか聞き取れないこともあるとわかりました。
- ・実際にあったケースを聞くことができて良かった。
- ・事例があった(会話)のでわかりやすかったです。

3. 『シルフィン繁多川における看取り (ACP) を通して』 (講師：新垣 則光 氏) は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	20	51%
参考になった	13	33%
まあまあ参考になった	4	10%
参考にならない	0	0%
無回答	2	5%
総計	39	100%

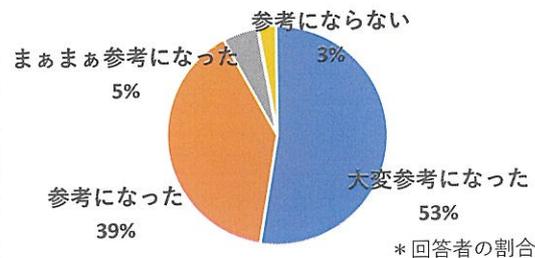


演題：『シルファイン繁多川における看取り（ACP）を通して』（講師：新垣 則光 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・事例を挙げて発表していたのでわかりやすかった。もっと色々な事例、現場の苦勞、家族さんへの対応を知りたかった。
- ・「残された時間をどのように過ごしたいか」に対して日頃から入居者と話をしていくことが大事で、それを書き留めることも重要になってくるとわかった。
- ・看取りまでの経過や看取り期の経過は、ケースによって内容も変わってくるので、ACPを通して経過を辿ることで本人にも家族にもスタッフにも寄り添えるのかなと思った。
- ・もっと詳しく話を聞きたいと思いました。
- ・職員のスキルを上げる事が大事。
- ・もう少し具体的な話が聞きたかった。
- ・夜勤のためのDNARの表示（roomに）がとても良い考えだと思った。
- ・終末期同意書、何回か意思確認が必要で、家族間で終末期について話すきっかけになると思いました。
- ・連絡先や順番を明確にし、居室に貼っておいたと言っていたと思いますが、ご家族様から了解を得たうえで行ったことなのかが気になった。
- ・良かった事例、悪かった事例が聞けて良かったです。本人主体、中心になったケアが伝わりました。
- ・実際のケースを通して普段から何を大事にしていくのかということがわかりやすく伝わってきました。何気ない会話の中から拾える情報もある。

4.『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	20	51%
参考になった	15	38%
まあまあ参考になった	2	5%
参考にならない	1	3%
無回答	1	3%
総計	39	100%

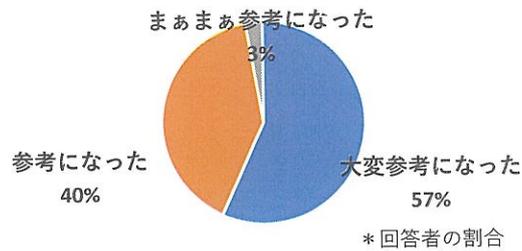


演題：『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・同意書の周知をスタッフ間でして欲しい。
- ・DNARの同意書をしっかり把握し、どの職員も見方がわかるようにしておくべきだと思った。
- ・市内7台の救急車。
- ・消防局とのワークも必要。
- ・DNARを考慮しておかないといけないと思う。
- ・救急の立場からの意見、DNAR共有の大切さを知った。
- ・DNARの同意の重要性を改めて理解しました。
- ・看護のスキルも差があり、判断が異なる場合がある。救急車同乗に関して、情報シートなどで改善できるといい・・・必ず家族には病院へ行ってもらっている。工夫はしている。
- ・施設で看取るがいざ緊急時に119番を連絡しそうな事があり、落ち着いて対応が必要だと再確認しました。
- ・DNAR確認・周知徹底が必要だと感じました。
- ・消防隊の情報を聞くことができ良かったです。コロナ禍での（特に第7波）高齢者の命の選別があったことを知り医療従事者の気持ちを考えると苦しくなりました。

5.『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	21	54%
参考になった	15	38%
まあまあ参考になった	1	3%
参考にならない	0	0%
無回答	2	5%
総計	39	100%



演題：『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）について、ご意見
ご感想をお聞かせ下さい。

- ・無駄な時間を省きたい、基本情報が知りたい→緊急連携シートの利用を。
- ・わからなかったことが知れたので良かった。
- ・自施設のシートの見直しをしようと思った。24時間医師がいるわけではなく、判断が難しい場面もあるので、日頃から聞き取りや情報の共有も大事だと感じた。
- ・今後の参考にしていきたいと思いました。
- ・病院の気持ちも理解できた。
- ・大変な時代になったと思う。その中で、できることをやるしかないと思う。
- ・利用者様の今後についてしっかり考えないといけないと思った。DNARについて考えたいと思う。
- ・しっかりと意思を確認することで、救える命にもつながるんだと改めて感じた。
- ・緊急連携シートがいかに大事なものがわかりました。
- ・知りたい情報を具体的に知った。また、医療体制の厳しさを知った。
- ・緊急連携シートを活用することでスムーズな対応ができると思いました。
- ・2024年以降の不安が高まった。
- ・救急車への付き添いが厳しい施設が多いと思われるので、緊急連携シートは本当において良いと思いました。
- ・病院との意見交換（情報）をする機会がなかなかなかったので、とても貴重な場となりました。

6. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

- ・いろいろな話が聞けて楽しいグループワークだった。
- ・良い意見が聞けました。
- ・ゆっくり話せませんでした。事前提出させて、話し合うだけなら良かったかも。
- ・たくさんの意見、考え方を聞けて良かった。どうしても「看取り」に目が行きがちだが、入居者がどのように過ごしていきたいのかを日頃から意識していくことで、少しでも寄り添ったケアができると感じた。現場の声が多数聞けたので良かったです。医師、看護師、介護職、救急救命士等幅広い観点のACPについて話を聞けて、今後のケアに生かし、アウトプットしていきたい。
- ・大変参考になりました。
- ・ACP会議という言葉は初めて聞きました。今日の研修はとても参考になりました。
- ・色々な方の考え方を知ることができて良かった。再度振り返り勉強していきます。
- ・もっと時間があったら皆さんのお話を聞けたと思います。発表を聞けなかったのが残念に思いました。
- ・多くの意見、情報が得られてとても良かったです。
- ・施設の管理体制を見直す。ACPへの知識を深める必要がある。多職種との連携、情報を共有しておく（家族も含む）。日々の会話で本人の思いを受け止めておく。
- ・施設職員と意見交換でき、ACPへの課題を理解できた。グループワークの時間がもう少し欲しかった。
- ・初対面でコミュニケーションが出来て良かった。

令和4年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

第1回 ACP(人生会議) セミナーin首里 アンケート結果

- ・ ACPの事前準備、その先の看取りを見据えて意見がまとまった。その先という点でACP、看取りが混同しなかったのが良かったと思います、一番勉強になりました。
- ・ ACPについて理解することができた。色んな意見、考え、経験が聞けて良かったです。
- ・ 介護に携わる方々、ベテランの方々の意見、大変勉強になりました。経験が浅い自分にとって、どう学んでいけば良いか、道筋が見えたように思いました。ありがとうございました。
- ・ 他の施設および医療機関または介護に携わっている方と話せて良かったです。
- ・ 色々な意見があり、皆さんが考えておられることが分かった。連携は必要と感じている人が多い。
- ・ 全く時間がなかった。もったいない。もう少し話をしたかったです。
- ・ 初めてグループワークしましたが、とても勉強になりました。他の意見も聞けて良かったです。
- ・ ACPを進めるための事前準備について話し合うことができ、色々な聞き出し方や考え方があることを知ることができた。
- ・ 色々な職種の意見が出たので参考になりました。
- ・ 各職種からの立場で意見が聞けて勉強になりました。自分で伝えられることはスタッフにも伝達したいと思います。
- ・ 他の職種の方の意見が知れて、とても学びになりました。
- ・ ファシリテーターの説明、進め方がわかりやすく、聞き入ってしまった。他事業者との共有する機会となり、とても良かったです。
- ・ 他の施設、職種の方からの多方面の意見が聞けて良かったです。題材に対して、普段思っているより別視点からの考えを取り入れ、自身の職場へ生かしていきたいです。
- ・ 他施設の実態も知り参考になった。
- ・ 様々な施設、包括等の意見があり、改めて別視点の大事さを感じました。
- ・ それぞれの意見が聞けて楽しかったです。
- ・ 時間がたっぷりあってゆっくり話せました。時間を設けて頂きありがとうございました。改めて、対面の研修の必要性を感じました。隣の人とタイムリーに意見交換できる、この環境があたりまえではなかったんだと。ありがとうございました。